



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



高温時対策 おすすめ資材

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠



海のチカラを植物へ。 マリンインパクト



海藻抽出物100%使用

- ◆ 成り疲れ対策にも効果抜群!
 - ◆ 菌根菌との共生アップ
 - ◆ 長期取り作物のストレス対策に
- 500~1,000倍
〈定植直後〉2週間おき2~3回
〈着果・果実充実〉2週間おき2~4回



酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト



暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 施設内の高温による苗の徒長対策
 - ◆ 花き類の奇形花、短茎、花色不良対策
 - ◆ 光合成機能の低下による収量減対策
- 果菜類・葉菜類使用例 1000倍 100ml/10a
本葉展開後~収穫前 2~3回 葉面散布



ライスフル 植物抽出物でできた 高温ストレス耐性剤

暑い夏の良質な作物づくりをサポート

- ▶ HSP(ヒートショックプロテイン)の増産で高温耐性の向上
 - ▶ 植物由来の成分が効果を発揮
- 500~1000倍 挿し穂をどぶ漬け
※詳細はメーカー様へお問い合わせください



高温ストレス軽減

炎天マスター



高温耐性のスイッチON!

- ◎ 高温対策専用バイオスティミュラント剤
 - ◎ 高温に備える指令を伝える遺伝子の発現増加
 - ◎ ストレスによって植物を傷つける物質の除去
- 500~1000倍
7~14日間隔 葉面散布

時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	11, 4	①白さび病 ②立枯病	ユニフォーム粒剤	○	—	①9~18kg/10a ②18kg/10a	①定植前 ②定植時又は 生育期	①1回 ②3回
生育初期	M03	白さび病	アントラコール顆粒水和剤	○	—	1000~2000倍	発病前~ 発病初期	6回
	6	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ オタバコガ・ヨトウムシ類	アフーム乳剤※	—	—	1000倍 (アザミウマ類: 1000~2000倍)	発生初期	5回
消灯時	11	褐斑病・黒斑病・白さび病	メジャーフロアブル	○	○	2000倍	発病初期	3回
	20B	ハダニ類	カネマイトフロアブル	—	—	1000~1500倍	—	1回
発蕾時	7	白さび病	カナメフロアブル	○	○	4000~8000倍	発病初期	3回
	30	アザミウマ類・ハダニ類・ オタバコガ・ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	—	—	2000倍	発生初期	2回
破蕾期	3	うどんこ病・白さび病	アンビルフロアブル	○	○	1000倍	発病初期	7回
	5	イラクサギンウバ・コナジラミ類・ アザミウマ類・ハモグリバエ類・ オタバコガ・カバネキノコバエ類	ディアナSC※	—	—	2500~5000倍 (コナジラミ類・カバネキノコバエ 類:2500倍)	発生初期	2回

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する
場合があるためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録